

1 活動名

全国市議会議長会研究フォーラム

2 研修の目的

(1) 本市における課題

議会改革が停滞している。

(2) 研修の必要性

議会基本条例制定から10年、全国の議会改革の様子を知る機会となる。

(3) 研修項目

議会活性化のための船中八策

3 研修内容

(1) 日時 2019年10月30日・31日

(2) 会場 高知ちばさんセンター

(3) 出席者 4名 上條美智子・近藤晴彦・勝野智行・内田麻美

(4) 内容

第1日目

第1部 基調講演「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」

第2部 パネルディスカッション「議会活性化のための船中八策」

第3部 意見交換会

第2日目

第4部 課題討議「議会活性化のための船中八策」

(5) 成果・所感等

基調講演では、政治学者で東京工業大学の中島岳志教授を講師に、「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」と題しての講演が行われました。

一般的にリベラルの反対は保守と言われるが、そうではなくリベラルの反対はパターナル（父権的）とし、リベラルも寛容になるという意味で捉えている。これをX軸に、リスクの社会化（大きな政府）VS リスクの個人化（小さな政府）をY軸に置いて政治のマトリクスを解説されました。その中で、自由民主党50年間の推移と希望の党の失敗要因、更にはデモクラシーの視点から、立憲民主党の盛り上がりと埋没、今年のれいわ新選組フィーバーについて考察。まとめとして、「老舗も時代時代で微妙に味を変えているように、政治的保守とは、大切なものを守るには改革が必要。改革とは、永遠の微調整である。保守はリベラルに接近していく。」ということでした。

1日目のパネルディスカッションでは、高部正男市町村職員中央研究所学長・横田響子コラボ代表取締役・古川康造高松丸亀町商店街振興組合理事長・田鍋剛高知市議会議長の4名のパネリスト、2日目の課題討議では、滝沢一成上越市議会議員・久坂くにえ鎌倉市議会議員・小林雄二周南市議会議長の3名の事業報告者がステージで、朝日新聞論説委員の坪井ゆずる氏がコーディネーターを務められ討議が行われました。

議員のなり手不足解消や有権者の関心を高めるための選挙対策、議会活動の広報活動や議会と議員の役割、若者や女性の政治参加など、様々な角度での討議がなされました。

大変に勉強になりました。

4 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) 支出額 246,560円

(日当 6,000、宿泊費 29,600、交通費 19,040、参加費 7,000) x 4

—以 上—